

UiPath ライセンスモデルポリシー

2021.4

UiPath のライセンス戦略は、一貫した包括的なエンド・ツー・エンドのプラットフォームをお客様に提供します。詳細は、[ライセンス・ガイド](#)（英語）を参照してください。

商用ライセンス

本ライセンスポリシーは、現行バージョンの UiPath プラットフォームに適用されるライセンス及び特定の禁止事項等を規定するものです。UiPath とお客様との間で適用されるライセンス契約と併せてお読みください。

従前リリースされたバージョンに適用される本ポリシーのアーカイブは [こちらの](#)リンクをご参照ください。

UiPath の商用ライセンスを使用する場合には、お客様は、本ライセンスポリシーに加えて、[UiPath 利用ポリシー](#)に従うものとします。

本ライセンスポリシーは最新でない場合があります。最新のライセンスポリシーは <https://licensing.uipath.com/>をご参照ください。

ユーザーの役割に応じた SKU

以下に別段の定めがある場合を除き、SKU は、ライセンス期間を指定して申し込むことにより利用可能です。その他の単位（ユーザーの種類や消費量等）が、以下に記載のとおり適用される場合があります。

SKUs	UiPath ソフトウェアの機能	前提条件及び使用上のルール
New! UiPath - Automation Developer - Named User OR UiPath - Automation Developer - Multiuser	Studio Studio Pro Test Manager User StudioX Attended Robot Action Center Task Capture	• Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 • Test Manager の利用には、20.4 以降のバージョンが必要です。 • Test Manager の機能を利用するためには、管理及びガバナンス機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。 • Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。
New! UiPath - Cloud Automation Developer - Named User OR UiPath - Cloud Automation Developer - Multiuser	Studio Studio Pro Test Manager User StudioX Apps	• Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 • Test Manager の利用には、20.4 以降のバージョンが必要です。 • Test Manager の機能を利用するためには、管理及びガバナンス機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。

UiPath - Cloud Automation Developer - Multiuser	Attended Robot Data Service Action Center Task Capture	- Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 - Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Action Center - Named User OR UiPath - Action Center - Multiuser	Action Center Task Capture	- Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 - Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 - 最小購入数は 5 SKU です。
UiPath - Attended - Named User OR UiPath - Attended - Multiuser	Attended Robot Action Center Task Capture	- Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 - Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 - 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。
UiPath - Citizen Developer Named User OR UiPath - Citizen Developer - Multiuser	StudioX Attended Robot Action Center Task Capture	- Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 - Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。
UiPath - Cloud Orchestrated - Citizen Developer - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated - Citizen Developer - Multiuser	StudioX Apps Attended Robot Data Service Action Center Task Capture	- Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 - Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。 - 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。

UiPath - Cloud Orchestrated Action Center - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated Action Center - Multiuser	Apps Action Center Task Capture	・最小購入数は 5 SKU です。 ・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Cloud Orchestrated Attended - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated Attended - Multiuser	Apps Attended Robot Data Service Action Center Task Capture	・ Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 ・ 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。 ・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。 ・ 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。
UiPath - Cloud Orchestrated Process Mining Developer - Named User	Process Mining for Developers Studio StudioX New! Studio Pro New! Test Manager User Apps Attended Robot Data Service Action Center Task Capture	・ 本 SKU の利用には Process Mining - Server が必要です。 ・ 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。 ・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。 ・ 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。 ・ Test Manager の利用には、20.4 以降のバージョンが必要です。 ・ Test Manager の機能を利用するためには、管理及びガバナンス機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。
UiPath - Cloud Orchestrated RPA Developer✖ - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated RPA	Studio StudioX Apps Attended Robot Data Service	・ Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 ・ 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。 ・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。 ・ 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータスト

Developer✖ - Multiuser	Action Center Task Capture	レージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。
UiPath - Cloud Orchestrated RPA Developer Pro✖ - Named User OR UiPath - Cloud Orchestrated RPA Developer✖ - Multiuser	Studio Pro Studio StudioX Apps Attended Robot Data Service Action Center Task Capture	- Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 - Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。 - 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。
UiPath - Multiuser Add-On	Add-on for Multiuser	- UiPath Orchestrator Standard 又は Automation Cloud においてのみ利用可能です。 - Multiuser ライセンスを利用するお客様ごとに 1 つのみ購入が必要です。
UiPath - Process Mining Business User - Named User	Process Mining for Business User Action Center Task Capture	- Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 - 本 SKU の利用には Process Mining - Server が必要です。 - 最小購入数は 20 です。
UiPath - Process Mining Developer - Named User	Process Mining for Developers Studio StudioX New! Studio Pro New! Test Manager User Attended Robot Action Center Task Capture	- Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 - 本 SKU の利用には Process Mining - Server が必要です。 - 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。 - Test Manager の利用には、20.4 以降のバージョンが必要です。 - Test Manager の機能を利用するためには、管理及びガバナンス機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。

UiPath - RPA Developer※ - Named User OR UiPath - RPA Developer※ - Multiuser	Studio StudioX Attended Robot Action Center Task Capture	・ Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 ・ Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。 ・ 本 SKU は、同じ Orchestrator インスタンスにおいて従前のライセンスモデルの Studio に関する SKU と共存させることはできません。
UiPath - RPA Developer Pro※ - Named User OR UiPath - RPA Developer Pro※ - Multiuser	Studio Pro Studio StudioX Attended Robot Action Center Task Capture	・ Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 ・ Multiuser ライセンスの利用には Multiuser Add-On が必要です。
UiPath - Test Developer Pro※ - Named User	Test Manager User Studio Pro Studio StudioX Attended Robot Action Center Task Capture	・ Action Center の利用には Orchestrator への接続が必要です。 ・ UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。
UiPath - Tester - Named User	Test Manager User Task Capture	・ UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。 ・ Test Manager の利用には、20.4 以降のバージョンが必要です。 ・ Test Manager の機能を利用するためには、管理及びガバナンス機能を有する別の Test Manager の SKU が必要です。

※当該 SKU は、UiPath - Automation Developer の SKU に統合されます。既存のこれら SKU は、更新又は新規購入に伴い、ご利用いただけなくなります。

ロボットの種類に応じた SKU

SKUs	UiPath ソフトウェア の機能	前提条件及び使用上のルール
New! UiPath – Automation Cloud Robot	セキュアな Automation Cloud の セッションにおいて、 UiPath により配置・ 管理される Unattended Robot	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - AI Robot	AI Robot	・ 本 SKU の利用には Orchestrator – Standard が必要です。
UiPath - AI Robot Pro	AI Robot Management for 1 GPU	・ 本 SKU の利用には Orchestrator – Standard が必要です。
UiPath - Cloud - AI Robot	AI Robot (includes compute resources)	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Cloud - AI Robot Pro	AI Robot (includes attachable GPU)	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Cloud - Document Understanding Page Bundle – 10M	Document Understanding	・ 10M (10,000,000) ページ単位での文書の処理が可能です。
UiPath - Cloud - Document Understanding Page Bundle – 1M	Document Understanding	・ 1M (1,000,000) ページ単位での文書の処理が可能です。

UiPath - Cloud - Document Understanding Page Bundle – 40k	Document Understanding	・ 40k (40,000) ページ単位での文書の処理が可能です。
UiPath - Cloud Orchestrated Robot - NonProduction	NonProduction Robot	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。 ・ お客様ごとの購入上限は、お客様が有する Unattended Robot ライセンスの総数の 30%又は 2 ライセンスのいずれか大きい数までとなります。
UiPath - Cloud Orchestrated Unattended Robot	Unattended Robot Data Service	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。 ・ 付与される 1 つのデータサービスユニットにつき、1GB のデータストレージ、5GB の添付ファイルストレージ及び 1 日 10,000 回を上限とする API リクエストが含まれます。
UiPath - Cloud Orchestrated Unattended Robot – Test	Testing Robot	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
UiPath - Document Understanding Page Bundle – 10M	Document Understanding	・ 10M(10,000,000)ページ単位での文書の処理が可能です。 ・ 本 SKU の利用には Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - Document Understanding Page Bundle – 1M	Document Understanding	・ 1M(1,000,000)ページ単位での文書の処理が可能です。 ・ 本 SKU の利用には Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - Document Understanding Page Bundle – 40k	Document Understanding	・ 40k (40,000) ページ単位での文書の処理が可能です。 ・ 本 SKU の利用には Orchestrator - Standard が必要です。
UiPath - Robot - NonProduction	NonProduction Robot	・ お客様ごとの購入上限は、お客様が有する Unattended Robot ライセンスの総数の 30%又は 2 ライセンスのいずれか大きい数までとなります。

UiPath - Unattended Robot - Concurrent Runtime	Unattended Robot	・本 SKU の利用には Orchestrator が必要です。
UiPath - Unattended Robot - Test	Testing Robot	・本 SKU の利用には、UiPath – Orchestrator - NonProduction 又は UiPath - Orchestrator -Standard の非本番環境のテナントが必要です。 ・UiPath – Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。

管理及びガバナンス機能に応じた SKU

以下に加えて、[Orchestrator licensing](#) 及び [Automation Cloud licensing](#) の概要もご参照ください。

SKUs	UiPath ソフトウェアの機能	前提条件及び使用上のルール
New! UiPath - Cloud Insights	Insights	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
New! UiPath - Cloud Task Mining	Task Mining	・ Automation Cloud を通じて運用管理される必要があります。
New! UiPath - Test Manager	Task Manager	・ 本 SKU の利用には、20.4 以降のバージョンが必要です。
UiPath - Cloud Automation Hub - Standard	Automation Hub Task Capture	・ Automation Hub の 1 つのテナントにアクセスできるユーザーの数は無制限です。 ・ Task Capture の利用は無制限です。
UiPath - Computer Vision - On Cloud	Computer Vision	・ 処理能力は 240 メガピクセル/分です。 ・ アカウントごとに 1 つに制限されます。

UiPath - Computer Vision - On-Prem	Computer Vision	・アカウントごとに1つに制限されます。
UiPath - Connector for Salesforce		・本SKUの利用にはUiPath - Orchestrator - Standardが必要です。
UiPath - High-Availability Add-On for Orchestrator	HAA	・UiPath - Orchestrator - Standard においてのみ利用可能です。 ・UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。 ・本ライセンスは、マルチノードで構成される1つのOrchestrator インスタンスの運用を可能にします。（すなわち、HAA クラスターが1つより多い場合は、High Availability Add-On の追加ライセンスが必要になります。）
UiPath - High-Availability Add-On for Orchestrator NonProduction	HAA	・UiPath - Orchestrator - NonProduction においてのみ利用可能です。 ・UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。 ・本ライセンスは、非本番環境におけるマルチノードで構成される1つのOrchestrator インスタンスの運用を可能にします。
UiPath - Insights - Orchestrator Add-On	Insights	・UiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。
UiPath - Insights - Orchestrator Add-On - NonProduction	Insights	・UiPath - Orchestrator - NonProduction においてのみ利用可能です。（なお、Insights はUiPath - Orchestrator - Basic ではご利用いただけません。）
UiPath - Orchestrator - Basic	Orchestrator	・本番環境用テナントを1つ作成可能なOrchestratorであり、別途購入が必要な、Attended User、Citizen Developer、Unattended Robot の任意の組み合わせで最大5ライセンスに加え、Automation Developer、RPA Developer、RPA Developer Pro、Test Developer Pro、Process Mining Developer の任意の組み合わせで最大5ライセンスを管理することができます。 ・同じインスタンスに非本番用テナントを作成することができます。 ・Multiuser SKU はサポートされていません。

・ Orchestrator Basic におけるご利用可否については、各 SKU を参照してください。

UiPath - Orchestrator - Basic Upgrade	Upgrade from UiPath - Orchestrator - Basic to UiPath - Orchestrator - Standard	・ UiPath - Orchestrator – Basic を既にご利用いただいていることが必要です。
UiPath - Orchestrator - NonProduction	Orchestrator	
UiPath - Orchestrator - Standard	Orchestrator	
UiPath - Process Mining Server	Process Mining Server	・ プロセスの数は無制限です。
UiPath - Process Mining Server - NonProduction	Process Mining Server	・ プロセスの数は無制限です。 ・ 非本番目的での使用に限定されます。

製品詳細

<https://docs.uipath.com> に記載される UiPath Platform スイート製品ライセンスは、ご利用可能な SKU に従って提供されます。

- **Action Center** は、実行時間の長いワークフローを処理する際にユーザーに割り当てられたタスクを実行するために使用されます。ワークフローの次の段階に進むためには、ユーザーによる介入が必要です。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Activities** は、UiPath が開発したか又は取得可能な状態にした自動化プロジェクトのソフトウェア・テンプレートです。

- **Apps** は、クラウド又はオンプレミスのシステム間でデータを連携することができるカスタムビジネスアプリケーションを、迅速に作成することができるローコードアプリケーション開発プラットフォームです。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Automation Cloud** は、自動化の作業及びリソースを一元管理することができるクラウドベースの SaaS ソリューションです。それによって、お客様は、Robot Factory(自動化に関する設計や開発、統合、情報共有等のためのプラットフォーム)をデプロイ、運用及びスケールすることができます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **AI Center** は、機械学習モデルの開発、トレーニング、格納及びデプロイメントに使用されます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **AI Robot** は、ML スキルを提供するためのランタイム及び ML トレーニングジョブを実行するためのランタイムです。1 台の AI Robot は、2 つの ML スキルを同時に提供、又は 1 つの ML トレーニングジョブを実行することができます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Automation Hub** は、自動化のアイデアを識別及び評価し、実装を管理し、自動化アーチファクトを保管するために使用されます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Computer Vision** は、機械学習テクノロジーによりスクリーン構成要素を特定し、アプリケーションを自動化するために使用されます。
- **Data Service** は、データストレージサービスであり、お客様は、相関的なデータの種類、統合セキュリティ並びに即座の提供及び配置等の機能を活用することができる自動化を行うことができます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Document Understanding** を使用すると、ユーザーは、機械学習モデルを使用して、デジタル化、分類及び抽出の機能の組み合わせによって、ドキュメントからのデータ抽出を行うことができます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **HAA (High Availability Add-on)** は、マルチノードで構成される 1 つの Orchestrator インスタンスの冗長性及び安定性を保つ高可用性ソリューションを提供します。
- **Insights** は、データのモデル化及び分析のための Orchestrator 統合型プラットフォームを提供します。Insights は、お客様のデータを任意の分析軸で可視化するために使用されます。お客様は、Insights によって、新たな分析的洞察を発見し、パフォーマンス指標を追跡し、エラー又は異常を検知することができます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Orchestrator** は、製品のデプロイ、管理及び監視に使用されます。1 つの Orchestrator インスタンスは、複数のテナントに分けることができ、それぞれが別個の論理環境となります。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Process Mining** は、IT システムのデータからプロセスに関する洞察を得るためのプロセス分析方法です。Process Mining は、実際に生じるプロセスを正確に示すための事実に基づく手法です。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Robot** は、特定の使用制限に従い、自動化ワークフローを実行するために使用されます。Robot の種類は以下のとおりです。詳細は、こちらをご覧ください。
 - **Attended Robot** : ユーザーの監視下において、ユーザーの直接操作によるワークフローの実行を行います。詳細は、こちらをご覧ください。
 - **Unattended Robot** : ユーザーの監視下でない状態で、UiPath Orchestrator が提供する管理機能を通じてワークフローを実行します。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Studio** は、自動化ワークフローを設計及び改修するために使用されます。詳細は、こちらをご覧ください。

- **StudioX** は、自動化ワークフローを設計及び改修するために使用される、ノーコードの開発環境です。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Studio Pro** は、自動化ワークフローを設計及び改修するために使用され、テストの自動化等の機能が追加されています。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Task Capture** は、ユーザーが行っているプロセス及びアクションを表示及び記録することができるプロセス発見ツールです。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Task Mining** は、プロセスワークフローを自動的に特定及び集約します。Task Mining は、ユーザーのアクションを記録し、それを分析し、ダッシュボード全体にその結果を表示するために使用されます。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Test Manager** は、ALM ツールとの統合を促進する編成レイヤーに沿って、テスト計画、要件のトレーサビリティ及び不具合報告を可能にするウェブベースのインターフェースです。詳細は、こちらをご覧ください。

ガイドライン及び制限

1. 同じ製品の Multiuser ライセンスと Named User ライセンスは、同じ Orchestrator キーにおいて共存できません。
2. Robot のライセンスを使用した Studio のアクティベーションは、以下の限られた目的のみににおいて可能とします（ワークフローの開発を目的とすることはできません。）。
 Attended Robot 又は Testing Robot によるアクティベーションはデバッグ目的に限定されます（ワークフローの編集は認められません。）。
 Unattended Robot 又は NonProduction Robot によるアクティベーションはトラブルシューティング目的に限定されます（ワークフローの編集が認められます。）。
3. Orchestrator と共に使用しない Studio 及び Attended Robot は、スタンドアロンライセンスでアクティベーションされます。
4. Attended Robot を Unattended Robot として使用することはできません。
5. 非本番環境の製品を本番環境において使用することはできません。本番環境において、非本番環境ライセンスを使用して自動化ワークフローを実行することはできません。
6. ディザスター・リカバリーは、UiPath が認める一定の製品についてのみ行うことができ、かかる製品の本番環境ライセンスと同じルール及び制限に従うものとします。本番環境ライセンスとディザスター・リカバリー環境のセットアップを同時に有効化することはできません。

定義語

このポリシーで使用されているが定義されていない用語は、ライセンス契約で定義された意味を持つものとします。

- **Attended Robot** は、ユーザーの監視下において、ユーザーの直接操作によるワークフローの実行を行います。詳細は、こちらをご覧ください。
- **Concurrent Runtime** がオンラインで Orchestrator に接続された場合、コンピューターは、Orchestrator に接続するために使用するコンピューターのランタイム容量に相当するライセンス数を使用します。ランタイムは、特定のコンピューター上で同時に稼働することができるロボットの最大数を表します。
- **お客様**とは、契約により製品を使用する権利を得た企業又は個人を意味します。
- **ディザスター・リカバリー**は、壊滅的損失を受けて障害回復及び事業の継続のために関連ソフトウェアの使用が必要な場合にのみ使用されるライセンスのコピーです。
- **ML スキル**は、AI Fabric に格納されており、ユーザーがすぐに利用できる機械学習パッケージです。
- **Multiusuer** は、ライセンスが割り当てられた複数の認定ユーザーのうち、1人のユーザーのみ同時にアクセスすることが許可されるライセンス・モデルです。各 Multiusuer ライセンスでは、アクセスすることが許可される個別の認定ユーザーを最大3人分まで割り当てることができます。Multiusuer は、旧バージョンのプラットフォームでは「Concurrent ユーザー」と表示される場合があります。
- **Named User** とは、ライセンスが特定されたユーザーに付与され、かつ、かかるユーザーによってのみ使用される場合のライセンス・モデルです。
- **非本番**とは、特定のソフトウェアについてのみ使用可能であり、本番環境の使用を除く、内部開発、内部トレーニング及び評価等を目的とする非本番環境での使用を意味します。
- **本番**とは、規定された商用目的に従ったソフトウェアの使用を意味します。
- **製品、サービス又はソフトウェア**は同じ意味で使用されることがあり、それぞれ、ソフトウェア・コンポーネント、サービス及び UiPath 独自の基礎技術を意味します。UiPath は、自らのお客様にライセンスを付与し又は配布する権利を有しています。
- **Runtime** とは、Unattended Robot が自動化処理を実行することが可能な単位です。（物理的又は仮想的にも）1台の端末は、同端末上で同時に使用することができる Unattended Robot と同じ数の Runtime を実行することができます。
- **Unattended Robot** は、ユーザーの監視下でない状態で、UiPath Orchestrator が提供する管理機能を通じてワークフローを実行します。詳細は、こちらをご覧ください。